こんにちは『NOSAIぎふ』です

れんけ

VOL.2
新年号 2021

P 2	組合長挨拶
P 3	スマート農業をより身近に！！
P 4～5	新しいことに取り組む農業者から地域の身近な話題が届きました。
P 6	水稲一筆方式は廃止となります
P 7	● 園芸施設共済の補償がさらに充実しました！！ ● ジャンボタニシの防除対策として
P 8	● 今回の表紙 ● NOSAIプレゼントクイズ

備えの種をまこう。

安心のネットワーク
NOSAI岐阜

岐阜県農業共済組合
組合長理事　**岩井　豊太郎**

地域農業を支える存在として

新年あけましておめでとうございます。

令和三年の新春を健やかにお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年を振り返りますと、令和二年七月豪雨災害では、県内におきましても甚大な農業被害がもたらされました。また、水稲の作況について、岐阜・西南濃地域でジャンボタニシやトビイロウンカによる食害が発生するとともに、飛騨・中濃・東濃地域では、不稔や獣害の被害が発生しました。

また、「新型コロナウイルス感染症」の感染拡大により、日常生活のほか、あらゆる産業に多大な影響が及び、農業分野においても大きな被害を被ることとなりました。本年も予断を許さない状況が続くと思われ、引き続き、所要の対策が必要になるものと思われます。

このような中、本県の農業分野において、新たな取組みが始まります。

まず、本年三月議会において、今後五年間の本県農業の取組方針を示す「ぎふ農業・農村基本計画」が策定されます。

さらに、「東京オリンピック・パラリンピック」後をもって終了する現行の県GAP制度に替わる新たな本県独自の制度である「ぎふ清流GAP評価制度」が、本年四月からスタートいたします。

このような新たな動きを見据え、合併二年目を迎える当組合の本年の重点目標は、様々なリスクから農業経営を守る「収入保険」の加入目標の達成であります。

コロナ禍において、当組合が、これまでの常識が通用しないウィズコロナ、ポストコロナといった「ニューノーマル」時代を生き残り、成長を遂げるためには、多様性のある農業者の「個」の力を最大限に生かし、社会の変化に柔軟に対応していく必要があると思います。

本年も組合員の皆様のセーフティネットとして、安心して農業に取り組んでいただけるよう、役職員一同、粉骨砕身取り組んでいく所在でございます。

皆様方に、なお一層のご支援とご尽力をお願い申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

謹賀新年

組合長理事
岩井豊太郎（大垣市）

副組合長理事
鷲見　郁雄（岐阜市）
日置　敏明（郡上市）

専務理事
奥田　隆（笠松町）

理事
伏屋　賢治（岐南町）
後藤　昌宏（海津市）
板津　徳次（富加町）
柘植　賢二（恵那市）
青山　節児（中津川市）
水本　甫（高山市）
布俣　正也（飛騨市）

代表監事
水野　光二（瑞浪市）

監事
村瀬　忠彦（岐阜市）
二村　一郎（下呂市）

参事
小島　晴夫
他職員一同

スマート農業をより身近に！！

3施設から構成された岐阜県スマート農業推進センター

今、ICT（通信技術）やAI（人工知能）、ロボット技術などの先端技術を農業に活用し、経営規模の拡大や高品質生産を目指す「スマート農業」が注目されています。

その中で、本県の「岐阜県スマート農業推進センター」を紹介します。

●スマート農業を体験

令和2年6月、海津市に最新のスマート農業機器等を実際に見て、体験して、学んで、便利さを実感する施設として開所しました。

多くの農業者からの「経営にどういった技術が活用できるかわからない」、「導入した時の効果が知りたい」などの声に応えるために、岐阜県スマート農業推進センターは設置されました。

同センターでは、農業機械の展示会や操作体験会・研修会などが行われている他、農業者などを対象にしたリモコン式等草刈機やアシストスーツの貸出が行われるなど、スマート農業をより身近に体験できます。

●冬春トマトへの活用

県内最大の冬春トマトの産地である海津市では、スマート農業による高品質トマトの栽培方法の確立に向けて動き出しています。

産地では、地元農家の生育データや環境データ等を令和4年まで3年かけて収集。そこから得られたデータをAI分析する計画が行われています。

基礎データ（定植日、日収穫量）、環境データ（ハウス内環境）、生育データ（株の茎径や葉の大きさ、開花及び収穫段位）を分析し、地域に合った最適な栽培条件をAI分析により構築。ハウス内環境を最適な栽培条件となるように制御することに役立てます。

●問題の解消へ

スマート農業は、担い手や労働力が不足する深刻な中でも、単収の向上、高品質生産、経験年数にかかわらず誰もが取り組める〝夢ある農業〟の実現を目指しています。

▶同センターのハウス内で、気温、湿度、日射量、CO_2濃度、飽差などの環境データを収集するモニタリング装置

●草刈機・アシストスーツの貸出や施設に関する　問い合わせ先
岐阜県農政課スマート農業推進係
TEL 058-272-1562

農業は手をかけた分だけ応えてくれる

北方町

■トマビレファーム代表　**安藤 一成**さん(45)

●経営面積　24㌃
●「麗容」「りんか409」栽培

2018年に就農したトマビレファーム代表の安藤一成さん。『トマビレファーム』とは『トマトビレッジファーム』を縮めた言葉でトマト村農場の意味です。

安藤さんの住む北方町に若手新規就農者が増え、様々な農産物が集まった野菜村ができればとの思いで名付けられました。

「僕に続く新規就農者が出てくるよう若手の希望にならなければと、農業の楽しさをSNSなどで発信し、新しいことに挑戦したい」と話す安藤さん。

また、消費者や食品事業者から信頼され、安心・安全な商品を届けるために、20年9月にJGAP(農業生産工程管理GAPの日本版)を取得しました。

「トマトの加工場を建て、カフェやマルシェを併設したい。野菜村農家の農産物販売や農産物を使ったメニューを出すなど、農家と消費者が垣根なく集まる場所を提供し、農業で地域活性化ができたら」と今後を思い描きます。

TOMATOVILLAGE_FARM

「インスタグラムをフォローしてください!」と安藤さん

地域の身近な話題が届きました。

大垣の梨を自然の甘さそのままに

大垣市

■株式会社 DIB 代表取締役　**林 達也**さん(47)

●経営面積　水稲60㌃ 梨15㌃
●従業員　8名

「大垣市で生まれ、地元で農業に携わり、地域に貢献するために、農業法人を設立しました」と話す林達也さん。岐阜県下で初めて、高品質・短期多収を実現する梨の「根圏制御栽培法」を取り入れています。

梨の名産地でもある大垣市の梨を一年中楽しんでもらえる方法はないかと考え、西美濃地域の農産物等を活用して新たな産業を創出する西美濃地域新産業創出事業に応募・参加。6カ月ほどをかけて、大垣市曽根町の梨を使用した『梨のドライフルーツ』を地元企業と協力して開発しました。

現在は、地元の企業が運営する店舗や名古屋市内の岐阜県アンテナショップにて販売をしています。

「今後は、販路の開拓と柿やイチゴなど季節に応じたドライフルーツや加工品も手掛けていきたい」と展望を話します。

「砂糖・添加物不使用なので、梨本来の甘さを感じることができます」と話す林さん

飛騨のパプリカをドレッシングに！

高山市

■東農園　**東 信吾さん(33)**

●住所　高山市中切町497
●電話　090-2187-7869

父親が経営する農園でパプリカ部門を担当している東信吾さん。

土づくりを大切にし、パプリカでは珍しい土壌栽培に取り組み、試行錯誤を重ねて、高級スーパーや有名料理店で取り扱われる高品質なパプリカを栽培しています。

パプリカ栽培は難しく、傷などがあり出荷できない規格外品がたくさん出てしまいます。

味の質も変わらないのにどうにかできないかと出荷先でもある地元スーパーの部長さんに相談したら、「ドレッシングにしてみようか」と声をかけていただきました。

そこから生まれたのが、パプリカの香りと旨味を生かした『東さん家のパプリカドレッシング』。

赤と黄色の2種類があり、赤はピリッと辛味がありスパイシー。黄色は甘味を感じられる仕上がりで子供にも人気。

「新しい提案として、ドレッシングと取れたてのパプリカを詰め合わせたギフトも販売しました。贈答用として野菜好きの方を中心に広まっています」と話します。

新しいことに取り組む農業者から

ツルムラサキで知名度向上へ

関市

■つるむらさき料理専門店
郷土料理つるや　**杉山 ミサ子さん(76)**

●住所　関市武芸川町谷口1223
●電話　0575-46-1391

「新鮮な香りが際立ち、ツルムラサキの生命力を感じてください」と蒸留水を手に杉山さん

「武芸川町特産のツルムラサキの魅力を広めたい」と話すのは関市西商工会の会長・杉山ミサ子さん。粉末にして様々な加工品に加えられ、人気を呼んでいます。

ツルムラサキは名前の由来でもあるように、紫色の花を咲かせ、独特のぬめりと香りがあり、ホウレン草とよく比較される成分は、栄養価が高く、今注目される緑葉食野菜。

杉山さんが店主を務める郷土料理店『つるや』ではツルムラサキのネバネバ成分がつなぎの役割をし、コシのあるツルンとしたのど越しが自慢のつるむらさきうどんを提供。地域ブランドの知名度を上げるべく新たな商品開発に力を入れています。

同市の奥長良川名水株式会社とPLUS株式会社との3者共同でツルムラサキのエキスを配合した『つるむらさき蒸留水』を開発。

「特産品は、地域の仲間とそこにしかない物をつくり出すこと。特産品が広まれば町おこしにもつながります」と笑顔を見せます。

水稲一筆方式は廃止となります

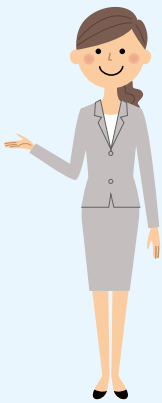
水稲一筆方式は令和３年産をもって廃止となりますので、今後は他の方式への移行をお願いします。NOSAIのおすすめは、次の方式です。

	いち押し 収入保険	おすすめ 全相殺方式	半相殺方式	地域インデックス方式
加入できる方	青色申告を行っている方	ＪＡ等に乾燥調製作業を全量依頼している方	全ての方	
対象の事故	自然災害による収穫量の減少や価格低下をはじめ、農業者の経営努力では避けられない収入の減少	自然災害による収穫量の減少		
補償期間	１年間	移植期（又は発芽期）から収穫するときまで		
支払要件	農業者ごとに、平年の収入金額を下回った場合	農業者ごとに、収穫量が平年収量を下回った場合		市町村単収が当該市町村の平年単収を下回った場合
被害確認方法	青色申告決算書等を使用	ＪＡ等の出荷データを使用	加入者からの見込み収穫量の申告と、損害評価員による現地調査結果を使用	統計データを使用

青色申告をしている人ならこれ！
ほとんどの農作物、あらゆるリスクに対応。
手続き簡単！無利子の「つなぎ融資」もあります。
「野菜価格安定基金」との併用も可能。

収入保険 ならこんな場合にも!!

- 取引先が倒産
- 市場価格の低下
- 災害により作付不能
- 新型コロナウイルスの影響
- 輸出時の為替変動
- けがや病気で収穫が出来ない
- 盗難や運搬中の事故
- 自然災害や病害虫などによる収量減少



詳しい内容については、お近くの NOSAI へお問い合わせください。

岐阜支所：058-275-3490　西濃支所：0584-64-6667　中濃支所：0575-22-1008
東濃支所：0573-25-8805　飛騨支所：0577-35-0310

※令和3年2月1日より、岐阜支所の問い合わせ先は 058-201-0157 に変更となります。

園芸施設共済の補償がさらに充実しました！！

近年、頻発する豪雨や台風、雪害等の自然災害により、園芸施設ハウスへの被害が全国で多発しています。

令和２年９月からは、制度改正により補償内容が、幅広く選択可能になりました。

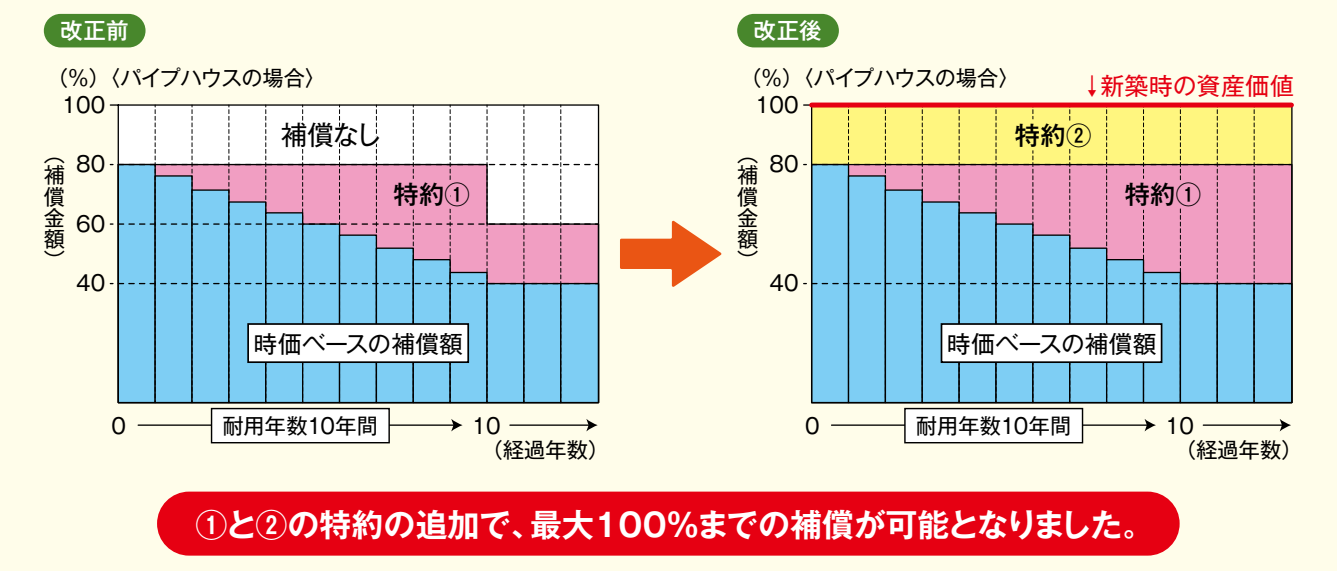
補償額の上乗せ特約

❶復旧費用特約の補償を引上げ（特約①の部分）

復旧費用特約を選択した場合、経過年数に係わらず、資産価値の最大８割まで補償します。

❷付保割合追加特約の導入（特約②の部分）

共済価額の８割が補償割合の上限でしたが、補償割合の９割または最大10割まで引き上げることができます。



小さな損害も補償する特約

これまで損害額が３万円（又は共済価額の５%）を超える場合に補償の対象となっていましたが、**１万円を超える損害から補償する特約**が導入されました。

ジャンボタニシ（スクミリンゴガイ）の防除対策として

寒中の田起こし（耕起）が効果的です！

近年、県内平野部を中心にジャンボタニシによる稲の食害が目立ちます。

ジャンボタニシは寒さと乾燥に弱く地中に潜り越冬しますが、寒さが厳しい年は越冬数が少なくなります。

一方で暖冬年は越冬し、翌年の大量発生につながります。ジャンボタニシは1回に２００個程度の卵を産み、それを繰り返すことで爆発的に増殖します。寒中耕起は収穫後に深さ5㎝以上でトラクターの走行速度を遅くし、ロータリー回転数を早くすることで貝の破砕効果が高まります。

計画的に防除をしましょう。

安心のネットワーク NOSAI岐阜
2021 1
発行　岐阜県農業共済組合　〒501-6132　岐阜市次木348－1
発行月　1月　TEL　058-270-0081（代表）　FAX　058-270-0088

今回の表紙

中津川市加子母　農事組合法人大杉畜産
丹羽光太郎さん（40）、奈津子さん（39）夫妻とお子さんたち
桜子ちゃん(9)、勝太郎くん(6)、桃子ちゃん(4)、莉子ちゃん(2)

桜子ちゃん、勝太郎くんはとても優しいお姉ちゃんお兄ちゃんで、妹たちをお風呂に入れてくれたり、色々な面倒を見ています。

この日も妹たちと手をつなぎ仲良く4人並んで歩いていました。また、牛の哺育や畑の仕事などのお手伝いもしています。妹の桃子ちゃん、莉子ちゃんたちは元気いっぱい。絵本が大好きな桃子ちゃんは、絵本に出てくる赤い竜が大好きと教えてくれました。

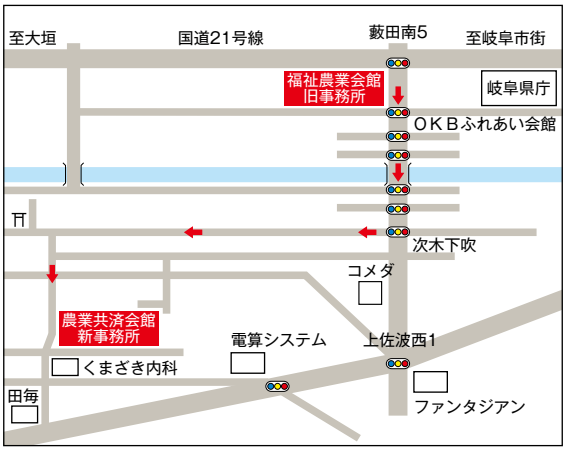
「毎日子供たちの賑やかな声が響いています。このまま4人仲良く育ってほしいです」とお母さんの奈津子さんが笑顔で話してくれました。

岐阜支所の事務所移転について

岐阜支所は、令和3年2月1日より岐阜県農業共済組合・本所の1階に移転することとなりました。旧事務所より、南に約2キロメートルに位置します。地図を参考にお越しください。

引き続きよろしくお願いします。

移転先等
〒501-6132
岐阜市次木348-1
岐阜県農業共済会館内
☎058-201-0157



NOSAIプレゼントクイズ

表紙の子供達と一緒にいるノーサイくんは、農家さんを応援する農業共済のキャラクターですが、彼はどんな動物でしょうか？

1 トラ　2 ウマ　3 ウシ

ヒント 令和3年の干支ですよ。

20名様
クイズの正解者の方から
抽選で株式会社ＤＩＢ
「梨のドライフルーツ」
をプレゼント！！

●ハガキに答えと、住所・氏名・電話番号・広報紙の感想を明記の上、下記までお送りください。

応募方法

63　5016132
岐阜市次木348－1
NOSAI岐阜　行

●答え
　○番
●住所
●氏名
●電話番号
●広報紙の感想

締切

令和3年 2月28日
（当日消印有効）

ご応募お待ちしています！

※応募はがきにご記入いただいた個人情報は、記念品の発送以外には使用いたしません。
なお、当選者の発表は、商品の発送をもって代えさせていただきます。

広報紙の名称募集にたくさんの応募を頂きありがとうございました。
選考の結果、岐阜県の花であり、複数の小花の集合体である花に一組合化して一つになったという意味を込めた『れんげ』とNOSAIを身近に感じて頂く『こんにちはNOSAIぎふです』の組み合わせに決定しました。
採用者の近藤佑胡様（輪之内町）と塚本つむぎ様（高山市）には、記念品を贈らせて頂きます。